

東芝ライテック(株)

東芝ライテック(株)は、21世紀を照らす“光テクノロジー21”を基本コンセプトとし、「あしたの光で“こちよい”を創ります™」を全社統一テーマとして、住宅、屋内外施設などあらゆる住空間で“あかり・光”に関連する商品を開発し、創造的光環境と価値の提供を積極的に進めています。

最近の社会状況の急激な変化に伴い、お客さまや市場のニーズが目まぐるしく変わるなかで、更に考えを一步進め、“新しい価値の創造”をポイントとして、市場のニーズを創り出すような商品開発に注力しています。そのために、VOC(顧客の声)に基づいた商品と、技術シーズに基づいた新しい価値を生む商品の2面から開発を進めています。

その結果、新光色蛍光ランプ“メロウZクリア™”、オン/オフタイマ付き照明器具、街頭緊急通報システム“スーパー防犯灯”など、光源、照明器具、照明システムで“こちよい™”あかり環境と高い質のあかり文化を提供する多くの新商品を開発しました。特に電球形蛍光ランプ“ネオボールZ™”レフランプ形は、2002年度グッドデザイン賞で“エコロジーデザイン賞”を受賞しました。また、IT(情報技術)化、高輝度LED(発光ダイオード)など、新技術や新材料の導入による新しい価値を生み出す将来の商品開発も進めています。

取締役 技術統括部長 三宅 正伸

3波長形蛍光ランプ“メロウZクリア™”



メロウZクリア™の3光色：左からクリアデイルイト™ (6,700 K)、クリアマイルドライト™ (4,000 K)、クリア電球色 (2,800 K)

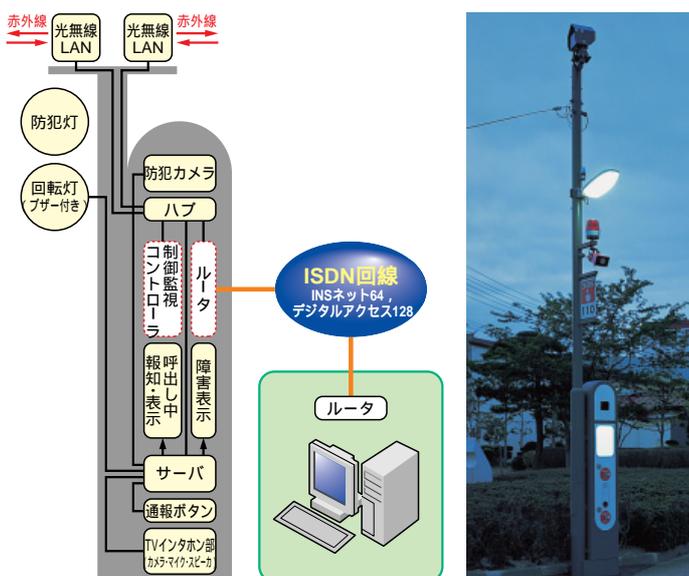
Three colors of Mellow-Z-Clear™: “Clear-DayLight™” (6,700 K)/left, “Clear-MildLight™” (4,000 K)/center, and “Clear-Denkyu-Shoku” (2,800 K)/right

メロウZ™に続く一般家庭用3波長形蛍光ランプとして、“光の質”にこだわった“メロウZクリア™”を開発し、2002年10月に以下の3光色を発売した。

- (1) 新たに開発した青色蛍光体の採用で、平均演色評価数を従来の3波長形昼光色の88に対して93としたクリアデイルイト™
- (2) 官能テストの結果、くつろぎ感と明るさ感で共に高いポイントを得た色温度4,000 Kのクリアマイルドライト™
- (3) より本物の電球に近い、落ち着いた色合いのクリア電球色

いずれも、明るさはメロウZ™と同一で、ランプの種類はFL20SS/18、FCL30/28、FCL32/30、FCL40/38である。

街頭緊急通報システム“スーパー防犯灯”



ISDN(統合デジタル通信サービス)回線を介して通報装置と本部受付センターを結び、犯罪の抑止や被害の拡大を防止して、“安心の街づくり”に貢献するシステムである。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) 通報者との通話及び通報者や周囲の映像の遠方監視と記録・再生が可能
- (2) 緊急通報時に回転灯が点灯し、警報ブザーが鳴動して、周囲に緊急事態発生を報知
- (3) 通報者照明や子供/大人用の通報ボタンを装備
- (4) 受付装置の通信記録機能、地図表示機能、取得画像の多画面表示機能など優れた操作性

INSネット64: NTTの提供するISDNサービスの一つで、通信速度64kbpsと16kbpsで構成される。デジタルアクセス128: NTTのISDN回線を利用した、通信速度128kbpsの専用線サービス。

街頭緊急通報システム(左)と通報装置(右)

Emergency call system (left) and call terminal (right)